

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月29日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道株 いすみ循環-1	市役所大原庁舎～長者町駅～ いすみ医療センター～市役所 大原庁舎	小中学生の利用料の無料化や市内に住民票を置く高校生及び障害者等の利用料免除など利用料金の改定を実施した。また、路線の一部延伸等を行い高校生等の利用促進を図った。徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつあり、住民等が市内循環バスを利用する機会が増えている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	利用実態を注視し、運行時刻や路線の見直し、路線の再編等検討していく。また、今後も広報やHP等を活用し利用促進に向けた継続的な啓発等を実施する。
小湊鐵道株 いすみ-2	市役所大原庁舎～長者町駅～ 房信夷隅町支店前		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:30,000人 実績:32,688人	
小湊鐵道株 いすみ-3	市役所夷隅庁舎～下布施～市 役所大原庁舎		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 分析:住民等の外出の機会が増えており、コロナ禍前の利用状況に戻りつつある。利用料金の改定や路線の一部延伸等により利便性を図ったことによる効果も要因であると考えられる。	
小湊鐵道株 いすみ-4	長者町駅～市役所夷隅庁舎～ 市役所大原庁舎		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月29日

協議会名：	いすみ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	いすみ市地域公共交通計画 上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性：市内循環バスについては、地域内公共交通として地域内の移動と交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)を活用し、安定的な確保・維持を目指す。